

Official trip report on ASEAN Design Selection 2017-18/Trade in Creative Industries

アセアンデザインセレクション 2017・18

出張報告書

国名と都市：マレーシア、クアラルンプール

出張者：貿易投資部 伊藤威子プロジェクト担当官

リソースパーソン：株式会社インフィールドデザイン代表 佐々木千穂審査員  
公益財団法人日本デザイン振興会 (JDP) 秋元淳事業部課長

相手国協力機関：マレーシア貿易発展局 (MATRADE) クアラルンプール本部

出張期間：2018年2月27日-3月1日

● 事業趣旨

「グッドデザイン・アセアンデザインセレクション 2017-18」は、日本アセアンセンターと日本デザイン振興会との連携によって、アセアンの零細中小企業におけるデザインスキル向上支援並びにアセアン各国の創造性豊かな企業の国際展開を支援することを目的に実施している。これまで両者は、「グッドデザイン・アセアンデザインセレクション 2003-05」「グッドデザイン・メコンセレクション 2014-15」を実施してきた。特に2003年から3年間のアセアンデザインセレクションではマレーシアからの受賞者は22社31プロダクツにのぼった。現在、日本アセアンセンターはマレーシア政府が促進する企業の日本での展示会などへの参加の側面支援をおこなっているのみにとどまり、デザインイノベーションについて更なる展開が求められている。

● 訪問内容

グッドデザイン・アセアンセレクション 2017-18」の「推薦候補の選択」にあたっては、これまでの事業経験を生かし、(1)デザインの考え方を理解し共有する「デザインセミナー」、(2)日本のデザイナーと対話する「ワンポイントアドバイス」、さらには、(3)グッドデザイン賞応募に向けての論点を共有する「企業訪問」の3つのメニューで実施することとした。事業はアセアン各国で実施されるため、このプロセスを日本アセアンセンターは以下のように「標準化」した。

- ・ 1日目：デザインセミナーとワンポイントアドバイス
- ・ 2日目：企業訪問と推薦候補選び
- ・ 3日目：現地主催者への報告と意見交換

● マレーシア

場所：サンウェイホテル、クアラルンプール

参加人数：52名

候補企業数：17企業

訪問企業数：3企業

● 第一審査結果

合格：7企業



#### ワンテック社 One-Tech (M) Sdn Bhd

評価ポイント：ビジネスモデル、プロダクト

マレーシアでは森林伐採問題が問題になっているが、ワン・テック社はこの問題に取り組み、LOHAS(Lifestyles of Health and Sustainability) 並びに、Green lifestyle product にこだわり、dapo というブランドでマレーシアのリサイクル木材によるテーブルウェアや家具をマレーシア人のデザインで提供している。プロダクト自体はナチュラルで若い世代にも好まれるシンプルさがある。



#### エアロスペース・マレーシア・イノベーションセンター Aerospace Malaysia Innovation Centre (AMIC)

評価ポイント：ビジネスモデル、プロダクト

Taman University のプロジェクトの一貫でドイツマレーシア技術開発研究所 AMIC として開発したもの。塗料を大量に使用する航空機体の塗装が人体に有害という視点から、航空機体のボディペインティングを、ロボットの作業に切り替えるという発想となった。さらに、航空機のレーザー修理機器などを開発。人と環境に配慮したコンセプトとしての先端技術開発能力を評価。



#### エー&エートラベル&ツーリズム A&A Travel & Tourism

評価ポイント：プロダクト

母体は旅行会社であるが、自然災害に備えて Sustainable な保存食開発を志し、3 年ほどかけて開発したレトルトパウチ。沸騰した湯に入れる、または電子レンジで暖めるという従来のレトルトパウチであるが、マレーシア食文化の世界発信にも貢献するものと評価。



#### アドテック・マレーシア社 Adtech Malaysia Sdn Bhd

評価ポイント：プロダクト

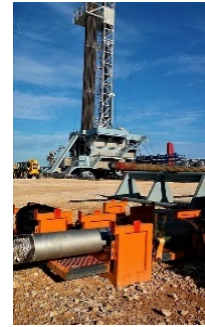
スーツケースなどの預け荷物並びに手荷物を簡単にラッピングするポリエチレンの保護フィルム。旅行者が持ち運びやすいコンパクトサイズで、再利用が可能であり、さらに密着度を強化しているため破りにくくセキュリティ効果を高めた素材に評価が集まった。ホームセンター価格で購入できる定価に設定。将来は厚さにも変化をもたせ、ポリに AI チップを埋め込み、盗難防止用のアラーム発信ができるような工夫をする予定。



MIT イノベーション社 MIT Innovation Sdn Bhd

評価ポイント：プロダクト

石油オイル探鉱開発の為に、インテリジェント型掘削中陰層機。2015年に販売開始し、2016年には海外の掘削作業も受注。高さ2m70cm幅17cm重さ500キロ。地下の気体が液体かを短時間に感知して液体漏れで引き起こす事故を未然に防ぐことを可能にした。気体漏れを短時間に感知できないと地上にいる人間に多大な影響を及ぼし、爆発などの事故にも繋がる。複数のR&Dチームによって開発されたスマートツールとしての掘削中陰層機を評価。



ASP プロ社 ASP Pro Sdn Bhd

評価ポイント：プロダクト

ライトの消し忘れなど予期せぬ時点でバッテリーがあがってしまった場合、知識や経験の少ないドライバーにとって、簡単にバッテリー充電作業が出来るように開発したキット。車に常に搭載しておき、USB接続してすぐに充電できるよう、リチウムポリマーバッテリーでジャンプスタートが可能になる。軽量で女性ドライバーにも優しい仕様になっている。通常のUSBの他、スマートフォン用のケーブルにも対応する。価格が見合えば日本市場にも販売可能であるユーザーフレンドリーとコンパクトさを評価。



NSF マニユファクチャリング社 NSF Manufacturing Sdn Bhd

評価ポイント：ビジネスモデル、プロダクト

ワン・テック社と同じ系列の家具会社で、やはりLOHAS/Green lifestyleにこだわりNOKTAというブランドに仕上げた。マレーシア人のデザイナーによる“Basic Modern”を強調した家具のラインアップの中からテレビ台を推薦した。



● 佐々木千穂審査員からの所感：

今回の審査で久々にマレーシアを訪れる機会を頂き、層の厚い人材や文化が織りなすマレーシアのポテンシャルの高さ、そして審査会で感じ取った「マレーシア発のイノベーション」に対する情熱に驚きと感銘を覚えた。伝統あるマレーシアの工芸品などは、個人の趣味嗜好に依存する部分が大きく、そのままではデザイン賞としての評価が難しいケースも多々あった。それは裏を返せば、マレーシアが伝統の中で培った財産をどのように次世代に活用することができるか、ひとつの機会領域と捉えることができるだろう。また、海外製品の製造拠点として積み重ねてきた技術力や創造力の高まりはめざましく、ここにより強い「ユーザー視点」や「社会に対する提案」が加わることで、ますます「Made in Malaysia」製品やサービスの世界における競争力が高まっていくであろうと感じた。

- 秋元淳氏からの所感：

今回のマレーシアを対象とした審査では、ユーザーコミュニケーションやユーザビリティへの配慮など、製品やサービスの目的・目指すべきゴールに向かって、いかに効果的かつユーザーが魅力を感じられるアプローチを取れるか、という視点（姿勢）が明らかな応募事例が複数見られたことに、大いに勇気づけられた。こうした視点は、対象となるユーザーやマーケットに対する人間的な洞察や理解を伴わずには生まれないもので、そのような意識が経営者や提供者の間に定着しつつあるという意味で、マレーシアの産業の良好な伸長をうかがわせる。イノベーション指向は今日の産業のめざす方向として地域を問わずに共通するが、それが人間をはじめとする社会の望ましい姿を見通したものであるために、デザインが重要であることが、マレーシアにおいても、実践を通じて今後さらに理解されていくことが期待させられた。

- 全体の総論：

当初マレーシアのカウンターパートである Matrade 側からのノミネート企業に関しては、広い分野からの推薦があった。特に、工業製品でのエントリーが多く、マレーシアから海外輸出のターゲットは大型機械にシフトしている様子が理解できた。マレーシア側の協力を得て、今回のセミナー&ワンデイクリニック・ワークショップの参加企業は 52 社と多く、佐々木審査員並びに、秋元 JDP 職員のセミナーを熱心に聴講していた。アンケートを実施した 9 割の回答者が商品開発におけるデザインイノベーション等のヒントを得るなど参加目的を達成したということであった。



了